



その他の考慮事項については Astra Automation

NetApp
August 11, 2025

目次

その他の考慮事項については	1
RBACセキュリティ	1
Astra の役割	1
ネームスペース単位で強化された RBAC	1
コレクションを操作する	1
診断とサポート	2
API リソース	2
API トークンを取り消します	2

その他の考慮事項については

RBACセキュリティ

Astra REST APIは、ロールベースアクセス制御（RBAC）をサポートしており、システム機能へのアクセスを許可および制限します。

Astra の役割

すべての Astra ユーザには、実行可能なアクションを決定する 1 つのロールが割り当てられます。役割は、次の表に示すように階層構造になっています。

ロール	説明
オーナー	admin ロールのすべての権限が割り当てられており、Astra アカウントを削除することもできます。
管理	メンバーの役割のすべての権限を持ち、ユーザーをアカウントに招待することもできます。
メンバー	Astra アプリケーションとコンピューティングのリソースを完全に管理できる。
ビューアー（Viewer）	リソースの表示のみに制限されます。

ネームスペース単位で強化された RBAC



この機能は、Astra REST API の 22.04 リリースで導入されました。

特定のユーザに対してロールバインドが確立されている場合は、制約を適用して、ユーザがアクセスできるネームスペースを制限できます。次の表に示すように、この制約を定義する方法はいくつかあります。パラメータを参照してください `roleConstraints` 詳細については、Role Binding APIを参照してください。

ネームスペース	説明
すべて	ユーザは、ワイルドカードパラメータ「*」を使用してすべてのネームスペースにアクセスできます。これは、下位互換性を維持するためのデフォルト値です。
なし	拘束リストは指定されますが、空です。これは、ユーザがどのネームスペースにもアクセスできないことを示します。
ネームスペースリスト	ユーザを 1 つのネームスペースに制限するネームスペースの UUID が含まれていません。カンマで区切ったリストを使用して、複数のネームスペースへのアクセスを許可することもできます。
ラベル	ラベルが指定され、一致するすべてのネームスペースへのアクセスが許可されます。

コレクションを操作する

Astra Control REST API には、定義されたクエリパラメータを使用してリソースコレクションにアクセスするためのさまざまな方法があります。

値の選択

を使用して、各リソースインスタンスに対して返すキーと値のペアを指定できます `include` パラメータすべてのインスタンスが応答の本文で返されます。

フィルタリング

収集リソースのフィルタリングを使用すると、API ユーザは、応答の本文でリソースが返されるかどうかを決定する条件を指定できます。。 `filter` パラメータは、フィルタリング条件を示すために使用されます。

並べ替え

収集リソースのソートを使用すると、API ユーザは応答の本文でリソースが返される順序を指定できます。。 `orderBy` パラメータは、フィルタリング条件を示すために使用されます。

ページ付け

ページ付けを適用するには、を使用して要求に対して返されるリソースインスタンスの数を制限します `limit` パラメータ

カウント

Booleanパラメータを含める場合 `count` をに設定します `'true'` の場合、返される特定の応答について返されるアレイ内のリソースの数がメタデータセクションに表示されます。

診断とサポート

診断とデバッグに使用できる Astra Control REST API には、いくつかのサポート機能が用意されています。

API リソース

API リソースからは、診断情報とサポート情報を提供する Astra 機能がいくつか提供されています。

を入力します	説明
イベント	アストラ処理の一部として記録されるシステムアクティビティ。
通知	ユーザに提供するのに十分な重要性があると見なされるイベントのサブセット。
未読通知	ユーザがまだ読み取りまたは取得していない通知。

API トークンを取り消します

不要になった API トークンは、Astra Web インターフェイスで取り消すことができます。

作業を開始する前に

導入時に Astra Web ユーザインターフェイスにサインインするには、クレデンシャルが必要です。また、取り消すトークンを特定する必要があります。

このタスクについて

トークンが取り消されると、そのトークンはただちに永続的に使用できなくなります。

手順

1. 次のアカウントクレデンシャルを使用してAstraにサインインします。
 - a. Astra Controlサービス：["https://astra.netapp.io"](https://astra.netapp.io)
 - b. Astra Control Center：インストール時に設定したローカル環境のURLを使用
2. ページの右上にあるのアイコンをクリックし、* API access * を選択します。
3. 取り消すトークンまたはトークンを選択します。
4. [* アクション * (* Actions *)] ドロップダウンボックスで、[トークンの無効化 * (* Revoke tokens *)] をクリック

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。